

経ヶ岬通信所だより

No. 3



地域の子供たちと文化交流（ハロウィン）



近畿中部防衛局広報誌

2018

👉地域住民の方々の安全・安心の確保に取り組んでいます

○米軍経ヶ岬通信所に商用電力が導入されました（9月6日）

近畿中部防衛局は、経ヶ岬通信所の発電機による騒音問題を解決するため、商用電力導入に向けて、米側に対して様々な働きかけを行ってきたところ、9月6日に米側から、通信所内で使用する高電圧用機器への商用電力導入が完了し、これをもって同通信所への商用電力導入が完了した旨の情報がありました。

現在、同通信所のレーダー等の機器は商用電力により運用されており、発電機は停止しています。

米側は、今後、メンテナンス等で発電機を一時的に稼働させる際には、地元行事等に配慮し、地域住民の方々に与える影響が最小限になるよう注意するとしています。

商用電力受電に係る機器の設置等状況



○安全・安心対策連絡会で 2 期工事の安全対策等を説明

前号（平成30年2月）の発行以降、安全・安心対策連絡会を開催（2月28日、6月8日、8月28日、11月26日）し、商用電力の導入状況や、通信所で行われている隊舎などの生活関連施設の建設工事（いわゆる2期工事）の進捗状況や安全対策などについて、京都府や京丹後市、地域住民代表の方々にご説明しました。

安全・安心対策連絡会での説明



○ドクターヘリ救急搬送遅延に係る再発防止策のとりまとめ（11月14日）

本年5月15日、経ヶ岬飛行制限区域飛行のための停波要請（入域調整）において、消防本部と米軍経ヶ岬通信所との間で意思疎通が円滑に行われなかったことにより、ドクターヘリによる救急搬送が遅延する事案が発生しました。

近畿中部防衛局は、米軍と関係機関が参加する会議を開催して、事実関係を検証するとともに、効果的な再発防止策を米軍及び関係機関と協議し、11月14日に取りまとめを行いました。

米軍及び関係機関は、定期訓練や研修への参加等を通じて、停波要請（入域調整）手続が迅速かつ確実に実施されるよう再発防止の徹底に取り組んでいます。

再発防止策の取りまとめ

- ① 米軍及び関係機関の定期訓練の実施回数を増加（現行月2回→基本的に毎週実施へ）
- ② 米軍及び関係機関の担当者を一堂に集めて定期的な研修を実施
- ③ 平素から関係機関で情報共有、意見交換を行うため、年2回程度の関係者会議を開催
- ④ 定期訓練等の結果を踏まえ、より円滑な意思疎通が可能となるようにマニュアルを改良
- ⑤ 飛行制限区域の影響を受けない場所へのヘリポート整備に向けて必要な予算の確保に努力

第2回経ヶ岬飛行制限区域への入域調整に係る会議（11月14日）の開催



👉 日米でさまざまな交流を行っています！



○ボランティア活動

台風被害による作業支援

米陸軍経ヶ岬通信所の陸軍兵士が 10 月 1 日、京丹後市丹後町袖志地区の集落に流れ込んだ土砂を取り除く作業の支援活動を行いました。9 月 30 日深夜から 10 月 1 日未明にかけての台風 24 号による大雨で発生した土砂が集落に一気に流入し床上浸水などの多くの被害をもたらしました。

この日作業に参加したのは陸軍兵士、契約業者や日本人従業員を含めて 20 名以上。ほぼ一日をかけて道路を塞ぐように並んだ大きな石、流入した泥を取り除く作業を支援しました。

「私たちも地域社会の一員です。」と話すのは第 14 ミサイル防衛中隊 中隊長のデビッド・ボガート大尉。「そして、私たちは良き隣人でありたいと考えています。困ったときはお互い様です。今回、陸軍兵士の奉仕の精神、規律の取れた態度を示すことができたと思います。」

兵士は十分な訓練を受けており、見事なチームワークで迅速に作業を行いました。

ボガート大尉は、「被災地域での作業は非常に厳しいものでしたが、それ以上に価値のある経験でした。」と話しました。



○ボランティア活動

海岸清掃作業

経ヶ岬通信所の陸軍兵士や日本人従業員が 11 月 4 日、京丹後市丹後町袖志地区の海岸清掃に参加しました。

作業は朝 7 時に始まり、約一時間をかけて、袖志地区東側の岩場エリアの清掃を行いました。

作業に参加したキートリック・キャナディ先任曹長は、「私たちは尊敬される民間大使でありたいと思っていますし、地域に貢献したいと考えています。また、私たちの仲間でパートナーである航空自衛隊第 35 警戒隊の皆さんと一緒に汗を流すことができました。更なる友好関係を構築する機会となりました。」と話しました。

袖志地区の海岸清掃は年 2 回行われ、経ヶ岬通信所の陸軍兵士や日本人従業員と航空自衛隊第 35 警戒隊の隊員が毎回参加しています。



○地域の皆様との交流



ハロウィンイベント

第 14 ミサイル防衛中隊と京丹後市国際交流協会は 10 月 27 日、京丹後市網野町の島津小学校にてハロウィンのイベントを開催しました。今回で 4 回目の開催となります。100 名の子供たち、保護者の皆様、経ヶ岬通信所の関係者、近畿中部防衛局、航空自衛隊第 35 警戒隊、地域からのボランティアスタッフを含む約 250 名が参加しました。

最初は英語で話すことに恥ずかしそうにしていた子供たちも次第に積極的に英語でコミュニケーションを取り、ゲームをクリアすると嬉しそうにハイタッチをしていました。

中には袋に入りきれないほどのキャンディを受け取ったお子さんもいました。

今回のイベントを企画したブレット・フィギュオラ 3 等軍曹は、「いつもは家族とハロウィンを楽しみますが、今は離れていて少し寂しい思いをしていました。子供たちがイベントを楽しんでいるのを見て嬉しくなりましたし、一生懸命準備してきて良かったです。京丹後の皆さんが私たちを温かく迎えてくださるので、私たちは京丹後を第 2 の故郷のように感じています。」と話しました。



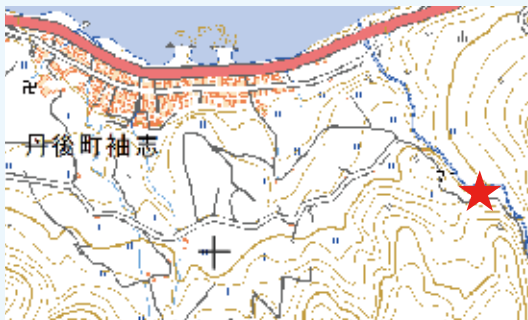
👉 防衛省の補助金等がまちづくりを支援しています！

防衛省では、防衛施設と周辺地域との調和を図るため、京丹後市が行うまちづくりに協力しています。

本稿では、防衛省から京丹後市に交付している再編交付金を活用して実施された事業について、その一部をご紹介します。

袖志区

【長延線改良事業】



★が整備した法面です



ビフォー



アフター

ビフォー



尾和区

【尾和地区農道改修事業】

アフター



出典：国土地理院(地理院地図(電子国土Web))

★が整備した道路です

👉引き続き地域の交通安全に取り組んでいます！

○第15回交通安全講習会

(平成30年 10月12日)

本年10月12日、京都峰山自動車学校にご協力いただき、米軍経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者を対象とした交通安全講習会を開催しました。

当局は、これから道路の積雪や凍結に注意を要する冬を迎えることを踏まえ、米側に対して、必ず冬用タイヤを装着し、十分に減速して慎重に運転するよう呼びかけています。

交通安全講習会(10月12日)の様子



米軍関係者との交通事故で被害を受けられた方へ

米軍関係者との交通事故で受けられた被害については、基本的には、日本人同士で交通事故を起こした場合と同様、米側当事者やレンタカー会社が加入する保険を通じて賠償を受けることができます。



当局は、被害者の方からご相談があれば、米側との間に立って調整を行うなど、できる限りのお手伝いを行っていますので、お困りのことがありましたらどのようなことでも結構ですので、以下の連絡先にご相談ください。

連絡先： 近畿中部防衛局管理部業務課
06-6945-4964 / 06-6945-5381 (夜間及び休日)



■ ご意見・ご感想等 ■

本誌についての皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っています。

(住所) 〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-67 近畿中部防衛局 広報編集委員会 (報道官気付) (電話・FAX) TEL 06-6945-4953 FAX 06-6910-5669 (メールアドレス) goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2018 年 経ヶ岬通信所だより (通算第 55 号)

平成 30 年 12 月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953
URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。